

家庭科 提案授業実践報告

1. 学年と題材 2年「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」

2. 題材について

本題材は、本校の令和元年度から取り組んでいる研究主題である「振り返りを重視した探究的な学習のカリキュラム・デザイン～自ら考え主体的に社会参画していく生徒の育成を目指して～」としての取り組みである。本校家庭科では、「探究的な学習」に取り組むことによって、生徒が主体的に自分自身の取り組みを「振り返る」場面が生まれ、学習活動を自分事として捉えることにつながっていくと考えている。そのための授業づくりとして有効であると考えていることは、学校行事や総合CD等の学習や他学年との横断的な学習を取り入れた「相手意識のある取り組み」、生徒が主体的に社会参画していく姿勢を養う「エシカル消費の視点を取り入れたカリキュラム」である。

そこで、これらの視点を意識した「エシカル」をテーマとした「探究的な学習」活動として「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」を設定し、生徒が自己の成長や変容を捉えながら課題を見いだしていくための効果的な「振り返り」の場面の検討に取り組み、「エシカルアクション」を自分事にしていくことができるかを実践、検討した。

本題材では、「エシカルアクション」をエシカルな暮らしや社会を実現するためにできることと定義し、「エシカルアクション」を自分事にしていくことをねらいとして、家庭での調理実践を通じた探究的な学習に取り組む。生徒が自分自身の生活や社会の中でどうありたいかを「探究的な学習」の中で生徒が「振り返る」場面を設定することで、今、自分ができる「エシカルアクション」について考え、自分事につながる気付きが得られるよう授業づくりに取り組んだ。

本題材の位置付けは、B衣食住の生活（食生活）とC消費生活・環境の学習内容の関連を図った生活の課題と実践である。対象生徒は、B衣食住の生活のうち食生活学習を2学年の1学期に取り組み、C消費生活・環境については1学年の3学期に学習している。

消費生活・環境の学習では、附属高等学校と本校の生徒との交流授業で附属高等学校の生徒からエシカル消費について教わり、自分にできるエシカルな行動について春休みに自分自身の生活を振り返りながら考えた。2学年の最初の授業でお互いが考えたエシカルな行動や高校生からの教わった印象に残ったことをカード形式にまとめた「エシカルカード」を共有する学習に取り組んでいる。

食生活の学習では、食生活と栄養や献立作りと食品の選択について学んだ。調理実習については、COVID-19感染防止対策により実施できていないため、作り方を確認したり、上級生の調理動画を視聴して肉や魚の調理で気を付けることや加熱による食材の変化を見取ったりして調理実習に向けてイメージを膨らませている。

本題材では、「サヴァ缶」を共通の食材として使った家庭での調理実践に取り組むことにした。

「サヴァ缶 (=Ça va?缶)」は、「(一社)東の食の会」と岩手県釜石市に工場をもつ「岩手缶詰(株)」と「岩手県産(株)」が東日本大震災の被災地三陸からオリジナルブランドの加工品を発信するために国産サバを使用したオリジナルの洋風缶詰として誕生したものである。本校ではこれまで

修学旅行で東北を訪れていたため、学校行事と関連のある教材としてサヴァ缶を扱い「エシカルなものづくり」の授業に取り組んできた。被災地の商品であるサヴァ缶を食材として選択することは「地域への配慮」にもつながるエシカル消費であり、持続可能な開発目標（以下、SDGs）の目標 12「つくる責任・つかう責任」等につながる「エシカルアクション」である。

生徒たちはエシカルな考え方や行動について附属高等学校の生徒から教わっているが、エシカルな考えや行動を自分事として捉え、実践している生徒は多くはなく、エシカルを捉える視点をこれから広げていく段階である。生徒たちは SDGs について、家庭科の授業の他、様々な学習活動で学んでいる。そこで、附属高等学校の生徒から教わったことを振り返らせ、サヴァ缶を共通の食材とした家庭での調理実践やその振り返りに取り組み、SDGs の目標と関連付けてエシカルアクションを考えさせることで、生徒のエシカルな考え方や行動の視野を広げていきたい。

生徒の学びの過程や変容を見取るために、毎回の取り組みをワークシートにまとめさせる。また、一人一台端末環境においてロイロノート・スクールをデジタルポートフォリオとして活用し、自分の考えや実践を思考ツールでまとめたカード、調理実践カードやエシカルアクションカードを蓄積したものを評価材として用いる。

3. 題材の目標／評価規準

(1) 本題材の目標

今、自分が実行できる「エシカルアクション」について、家庭での調理実践を振り返りながら探究し、「エシカルアクション」を自分事にしていくことがエシカルな暮らしや社会を実現するための一歩につながることに気付くことができる。

(2) 本題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	エシカルアクションを意識した家庭での調理の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、エシカルアクションを意識した家庭での調理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、家族や地域などで実践しようとしている。

4. 指導と評価の計画 (☆：振り返りの活動場面)

小題材	時間	小題材 ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調理場面でのエシカルアクションを予測しよう	1・2時	<p>○エシカルアクションを意識した家庭での調理の中から問題を見いだして課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭での調理場面におけるエシカルポイントを見出し、課題を設定する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈課題設定の際の視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮 社会への配慮 人への配慮 地域への配慮 生物多様性への配慮 </div> <p>○「健康」「安全」「持続可能な社会の構築」などの視点から「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」の計画を考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」の計画を立てる。 グループで発表し合い、自分の計画を改善する。 		<p>①エシカルアクションを意識した家庭での調理の中から問題を見いだして課題を設定している。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察 <p>②エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する課題の解決に向けてよりよい生活を考え、計画を工夫している。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 実践予測カード 行動観察 	<p>① エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する課題の解決に主体的に取り組もうとしている。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践予測カード 行動観察
家庭での調理実践					
調理場面でのエシカルアクションを振り返り、エシカルアクションカードを作成しよう	3・4時	<p>○「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」の実践について筋道を立てて説明したり、発表したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに実践発表会を行い、互いにアドバイスし合う。 <p>○「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」について、実践した結果を評価・改善するとともに、新たな課題を見つけ、次の実践に取り組もうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の生徒からの意見を踏まえ、実践を評価し、改善する。 よりよい生活にするために、「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」についての新たな課題を見つけ、次の実践に向けて考えたことをエシカルアクションカードにまとめる。 		<p>③エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを筋道を立てて説明したり、発表したりしている。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 実践結果カード 行動観察 <p>④エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する課題解決に向けて、家族や地域などで実践した結果を評価したり、改善したりしている。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> エシカルアクションカード 相互評価 行動観察 	<p>②エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> レシピカード ワークシート 行動観察 <p>③さらによりよい生活にするために、エシカルアクションを意識した家庭での調理に関する新たな課題を見つけ、家庭や地域での次の実践に取り組もうとしている。☆</p> <ul style="list-style-type: none"> エシカルアクションカード 行動観察

5. 本時の学習


第1・2時 調理場面でのエシカルアクションを予測しよう

(1) 本時の目標

調理場面での「エシカルアクション」にはどのようなものがあるのかについて考え、家庭での調理実践で実行できる「エシカルアクション」を予測し、家庭での調理実践の見通しを持つ。

(2) 指導と評価の流れ

	主な学習活動と内容	指導上の工夫・配慮
課題設定	<p>○夏休みの課題として家庭での調理実践に取り組むことを知る。</p> <p>○自分自身のエシカルな考えや行動であるエシカルアクションの実践状況を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> エシカルな暮らしや社会を実現するために今自分ができること </div> <p>○エシカルアクションとSDGsの関係を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への配慮 ・ 社会への配慮 ・ 人への配慮 ・ 地域への配慮 ・ 生物多様性への配慮 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を振り返りながら夏休みの課題に取り組むことを伝える。 ・ 附属高校生との交流授業での動画を視聴させ、エシカルな考えや行動について学習したことを思い出させる。 ・ 自分自身があげた実行可能なエシカルアクションを確認させ、春休みからこれまでの自分自身の実践について振り返らせ、ロイロノートのアンケート機能でお互いの状況を共有させる。 ・ サヴァ缶を食材として選ぶことは、「目標 12 つくる責任 つかう責任」や地域への配慮として「目標 11 住み続けられるまちづくりを」につながることを確認させる。 ・ 「Edu Town SDGs」のSDGsカードで「目標 12 つくる責任 つかう責任」には様々な目標が関連し、さらに人によって考え方や取り組みが異なることを確認させる。
課題追究	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> サヴァ缶クッキングでは、どのようなエシカルアクションがあるのだろう </div> <p>○上級生が取り組んだレシピを確認する。 参考資料 赤いエプロンプロジェクトのお便りや動画 上級生が作成した Google サイト 様々なレシピサイトの情報 書籍 等</p> <p>○自分が作ってみようと思うレシピの情報を整理し、エシカルアクションを予測する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上級生が取り組んだサヴァ缶オリジナルレシピを参考にし、家庭で挑戦してみようと思うレシピの候補を選ばせ、ロイロノートに整理させる。 ・ 上級生のレシピを見てくださった公益財団法人の方のビデオメッセージから、エシカルアクション探しのヒントが中学校の食生活の学習に関連があることに気付かせる。 ・ 家庭での実践を振り返り、エシカルアクションカードとしてまとめ、社会に向けて発信することを伝える。 ・ 自分が作ってみようと思うレシピやエシカルアクションの予想を思考ツール（熊手チャート）にロイロノートで整理させ、生徒同士が共有できるよう提出箱に提出させる。 ・ 自分大根のレシピカードや参考資料等の情報や生徒それぞれの調理経験をもとに自分1人でできるレシピを選んだり、考えたりできるよう促す。 ・ 自分大根の調理の他、小学校での調理実習や家庭での調理

	 <p>○作ってみようと思うレシピとエシカルアクションを共有する。</p>	<p>でこれまでどのような調理に取り組んできたのかを思い出させ、エシカルアクションを既に実行していることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶詰に表示されている情報や商品のサイト等から情報を読み取り、5種類のサヴァ缶から家庭での調理実践で使用するサヴァ缶を選ばせる。 ・様々な観点からエシカルアクションについて考えることができるよう、SDGsの具体的な取組事例を「Edu Town SDGs」のサイトで確認させる。 ・思考ツール（熊手チャート）に整理した、自分が作ってみようと思うレシピやエシカルアクションの予想を共有させ、家庭実践に向けた見通しを持たせる。 ・生活班ごとに班の代表者を決めさせ、班の代表として発表させる。
省察	<p>○家庭で実践できるエシカルアクションを整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での実践に向けて、生活場面の身近なところにエシカルアクションのヒントが隠されていることを確認する。

(3) 評価規準

- ・調理場面での「エシカルアクション」にはどのようなものがあるのかについて考えることができる。
- ・家庭での調理実践で実行できる「エシカルアクション」を予測することができる。
- ・家庭での調理実践の見通しを持つことができる。

第3・4時 調理場面でのエシカルアクションを振り返り、エシカルアクションカードを作成しよう


(1) 本時の目標

家庭での調理場面での「エシカルアクション」を振り返り、エシカルな暮らしや社会を実現するためにできることを「エシカルアクションカード」として整理する。

(2) 指導と評価の流れ

	主な学習活動と内容	指導上の工夫・配慮
課題設定	<p>○夏休みの家庭での調理実践を振り返ってエシカルアクションカード作りに取り組むことを知る。</p> <p>○家庭での調理実践やエシカルアクションの実践状況を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの家庭での調理実践を振り返り、「エシカルな暮らしや社会を実現するために今自分ができること」をエシカルアクションカードとしてまとめ、レシピカードと共に発信することを確認させる。 ・レシピカードやワークシートを情報共有のためにロイロノート・スクールの提出箱に提出する作業を通して、家庭での調理実践を通して、自分自身のエシカルアクション（エシカルな考えや行動）を思い出させる。

サヴァ缶クッキングでは、どのようなエシカルアクションがあっただろうか

<p>課題追究</p>	<p>○家庭での調理実践を振り返り、エシカルアクションの実践状況を整理する。</p> <div data-bbox="236 280 651 504"> <p>5つの配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への配慮 ・社会への配慮 ・人への配慮 ・地域への配慮 ・生物多様性への配慮  </div> <p>○エシカルアクションの実践状況を共有する。</p> <p>①班</p> <p>②全体</p> <div data-bbox="242 734 630 862"> <p>エシカルな暮らしや社会を実現するために今自分ができること</p> </div> <p>○エシカルアクションカードを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が取り組んだ家庭での調理実践で見つけたエシカルアクションを思考ツール（熊手チャート）にロイロノートで整理させ、生徒同士が共有できるようにレシピカードと併せて提出箱に提出させる。 ・エシカルアクションには様々な観点があることに気付かせるため、5つの配慮事項やSDGsの目標と関連付けて整理させる。 ・家庭での調理実践で見つけたエシカルアクションを5つの配慮事項やSDGsの目標と関連付けながらグループ内で発表させる。 ・共有がスムーズに進むよう進行役を設け、それぞれの班の傾向を共有するため、記録・発表役を設ける。 ・エシカルアクションの共有を通して、自分自身の生活に生かすことができそうなことや気になったことをワークシートに記入させる。 ・調理実践やエシカルアクションの内容を共有することで、人によって取り組みや考え方が異なることに気付かせる。 ・家庭実践の共有を通して、「エシカルな暮らしや社会を実現するために今自分ができること」としてエシカルアクションカードにまとめる内容を考えさせ、ワークシートに整理させる。 ・発信する相手の調理経験、エシカルアクションに対する理解、年齢等が異なることを踏まえ、伝わりやすいカードになるよう促す。 ・作成したエシカルアクションカードを情報共有のためにロイロノート・スクールの提出箱に提出させる。
<p>省察</p>	<p>○エシカルアクションを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での調理実践を通して、生活場面の身近なところにエシカルアクションがあることを確認する。 ・人によって取り組みや考え方が異なり、自分にできる一歩の大切さに気付かせる。

(3) 評価規準

- ・夏休みの家庭での調理実践を振り返り、調理場面での「エシカルアクション」にはどのようなものがあるのかについて考えることができる。
- ・これまでの取り組みを振り返り「エシカルアクションカード」として発信する内容を整理することで、自分の一歩がエシカルな暮らしや社会を実現するためにつながることに気付くことができる。

6. 生徒の学習の実際

第1・2時 調理場面でのエシカルアクションを予測しよう

第1・2時の目標は、調理場面での「エシカルアクション」にはどのようなものがあるのかについ

て考え、家庭での調理実践で実行できる「エシカルアクション」を予測し、家庭での調理実践の見通しを持つことである。

生徒たちは1年生のC消費・生活環境の学習で附属高校生からエシカルについて教わり、今自分にできる行動について確認したところ、生徒の回答状況は「実践できている」29.4%、「どちらとも言えない」55.9%、「実践できていない」14.7%であった。家庭での調理実践に取り組むにあたり、これまでの自分自身の経験や知識を振り返ったり、上級生の取り組みを参考にしたりしながら、調理場面におけるエシカルアクションについて具体的に考えることにした。

上級生の取り組みを確認する際には、上級生のレシピをまとめたサイトや上級生のレシピが紹介された被災地復興応援事業として東北の方々と関わりの深い「赤いエプロンプロジェクト」（公益財団法人味の素ファンデーション）のYouTube公式チャンネルを視聴した。「赤いエプロンプロジェクト」担当の方には、生徒がエシカルアクションについて考えるヒントが得られるよう、実際に調理場面で行っているエシカルアクションをメッセージビデオとして教えていただいた。

さまざまな情報を参考にしながら、生徒がそれぞれこれまでの生活を振り返ってアイデアを出して分類したり、内容を広げたり、多面的に見たりすることでエシカルアクションについて具体的に考えていけるよう、ロイロノート・スクールの思考ツールの中から熊手チャートのカードを使用して考えを整理させた（図1）。熊手の枝の部分には、消費者庁の啓発資料パンフレット『エシカル消費ってなあに？』の図で示されているエシカル消費の5つの配慮事項「環境への配慮」「社会への配慮」「人への配慮」「地域への配慮」「生物多様性への配慮」を記し、調理場面でのエシカルアクションの予測を5つの視点で考えさせた。なぜそのような配慮が必要なのかにも目を向けさせるため、SDGsの17のゴールと関連付けて考えさせた。ロイロノート・スクールの提出物に提出された内容をグループごとに紹介しあったが、生徒が考えたエシカルアクションには、実際に取り組むことができそうなものが多く見られた。



図1 調理場面でのエシカルアクションの予測

夏休み 家庭での調理実践

生徒たちは、5種類（オリーブオイル漬け、レモンバジル味、パプリカチリソース味、アクアパッツァ風、ブラックペッパー味）の中から自分で選んだサヴァ缶を2缶持ち帰り、家庭での調理実践に取り組む、エシカルアクション探しに取り組んだ。調理では、「Aコース：中学生が自分や家族のため

「作る手軽な一品」「Bコース：ローリング・ストックとして保存していたサヴァ缶を簡単な調理で食べる一品」と2つのコースを選択して取り組みました。取り組みの様子は、「レシピカード」(図2)と「ワークシート」(図3)にまとめ、夏休み明けに提出した。

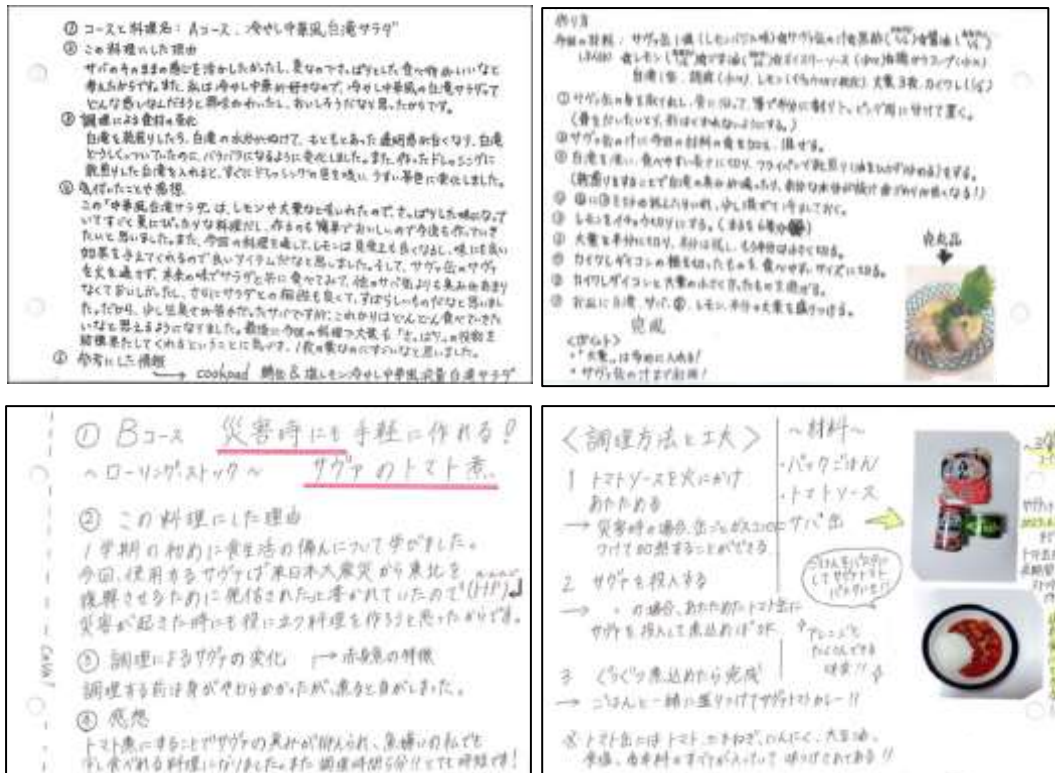


図2 生徒が作成した「レシピカード」

「レシピカード」には、①コースと料理名、②この料理にした理由、③調理による食材の変化、④③以外に気付いたことや感想(家族・自分)、⑤参考にした情報(レシピ等)、作り方やできあがりの様子(写真・イラスト)をまとめさせた。「レシピカード」は、生徒祭の教科展示として展示を行い、全校生徒や保護者に見ていただいた。生徒が調理実践で取り組んだ料理名を次に示した。

サバ缶ガーリックバター焼き／サヴァ缶ピザトースト／塩辛さは好み!サヴァ缶パスタ／サヴァこかけご飯／サヴァマヨサンドイッチ／トマトバジルパスタ／サヴァ缶とトマトのパスタ／サヴァ缶のアクアパッツァ／サヴァ缶カレーグラタン／さっぱりめんつゆのそうめん／サヴァ缶パスタ／サヴァ缶とトマトのパスタ／冷やし中華風白滝サラダ／サヴァ缶ドライカレー夏 ver.／サバのガーリック焼き／激辛サヴァ缶パスタ／サヴァ缶のグラタン／たっぷり野菜とサヴァ缶のトマトスープ／コーンとサヴァ缶のペペロンチーノ with コーン出汁スープ／サヴァ缶のひんやりトマトスープパスタ／サヴァ缶の焼き春巻き／サヴァ缶カレー／サバのトマトグラタン／サバのココナッツカレー／パエリア／アクアパッツァのペペロンチーノ／サバと納豆のオムレツ／çava トースト／納豆サバパスタ／サヴァ缶の押し寿司／レモンバジル味サヴァ缶入りフワフワキッシュ／サヴァ缶 濃厚つけ麺／サヴァ缶の卵かけご飯&目玉焼き／生春巻きサヴァ缶のアクアパッツァ、サヴァ缶のパエリア風／サヴァ缶サラダ／サヴァ缶のレモンバジルパスタさばの和風ドリア／サバパン／サバとチーズのリゾット／Ça va? Pizza／災害時にも手軽に作れる!サヴァのトマト煮／サヴァチーズグラタン／サバ缶チャーハン／レモンバジルサヴァ缶のトマトパスタ／サヴァのタルタルパスタ／サヴァ缶と焼肉のタレでサヴァ入り豆腐ハンバーグ／サバ缶トマトパスタ／サヴァ缶の焼き春巻き／鯖缶と豆乳のヘルシーなグラタン／サヴァ缶ガーリックライス／ペッパーが効いたサヴァチャーハン／サヴァ缶のアヒージョ／レタス入りサヴァチャーハン／çava アヒージョ／サヴァとアボカドの冷製パスタ／サヴァトマ冷や汁／アヒージョ／サバとオリーブのパスタ／鯖の冷やしラーメン／サバのトマトチーズグラタン／サヴァ缶入りパスタ／オイル漬けのサヴァ缶と青梗菜のスクランブルエッグ／サヴァ缶のトマトカレー／サヴァ缶ナポリタン／サヴァ缶ポテトグラタン／サヴァとトマトのパスタ／いたりあん風さっぱりうどん／手巻き寿司風さんど／鯖缶トマトパスタ／サヴァ缶ドライカレー／サバ缶とトマトのサラダすし丼／サヴァ缶ペペロンチーノ／サヴァ缶で簡単!トマト煮作り／サバとキャベツのレモン風味冷製パスタ／鯖缶が苦手でも食べれるサヴァ缶混ぜご飯／キャベツとジャガイモのサヴァ缶炒め／サヴァ缶とトマトのハヤシライス／サバのイタリアン風サラダ／さばとブロッコリーのマスタードグラタン／サヴァ缶塩焼きそば／野菜とサヴァのアクアパッツァ風煮込み／サヴァ缶のペペロンチーノ／サバのみぞれ煮／サヴァ缶のアクアパッツァ風／サバ缶のひんやりトマトスープパスタ／サヴァ缶チャーハン／サヴァサンド／パスタ／サヴァ缶冷奴／サヴァ缶パスタ／サヴァ缶のひんやりトマトスープパスタ／アクアパッツァ味爽やかアヒージョ風

第3・4時 調理場面でのエシカルアクションを振り返り、エシカルアクションカードを作成しよう

第3・4時の目標は、家庭での調理場面での「エシカルアクション」を振り返り、エシカルな暮らしや社会を実現するためにできることを「エシカルアクションカード」として整理することである。

夏休みに家庭での調理実践として取り組んだことを生徒が共有できるよう、「レシピカード」や「ワークシート」をタブレット端末で撮影してロイロノート・スクールの提出箱に提出させて共有した。自分が作ったからこそ、友だちのレシピのさまざまな工夫に気付くことができ、声を掛け合う様子が見られた。

実際に家庭で調理実践を行った際に取り組んだエシカルアクションを整理した「ワークシート」の内容を振り返りながら、第1・2時の調理場面でのエシカルアクションの予測の際と同じ形式のカードに整理させた。ロイロノート・スクールの提出箱に提出されたカードを共有し、グループごとにエシカルアクションの特徴を整理し、学級全体で共有した。グループごとに整理した、生徒それぞれが取り組んだエシカルアクションの特徴を①多かったエシカルアクション、②多かった配慮事項、③少なかった配慮事項、④ぜひ、みんなに伝えたいエシカルアクションの4つの内容で話し合い、ロイロノート・スクールのカードに整理して学級全体で共有した。学級によって、②多かった配慮事項、③少なかった配慮事項の結果に若干の違いはあるが、「環境への配慮」が多く、「社会への配慮」、「人への配慮」が少ない傾向が見られた。

お互いの取り組みを共有した後、エシカルな暮らしや社会を実現するために今、自分ができていることを整理し「エシカルアクションカード」の作成に取り組んだ(図4)。



図4 生徒が作成した「エシカルアクションカード」

作成にあたっては、夏休みの家庭での調理実践が取り組んだお互いの「エシカルアクション」について特徴的な実践をアドバイスし合った。生徒それぞれが友だちからのアドバイスを参考にしながら作成した。裏面には、①配慮点の項目、②タイトル、③カードに込めた思い、④参考にした情報を整理した。生徒が作成した「エシカルアクションカード」のテーマを次に示した。

環境への配慮

フードロスをなくそう／食べ物は捨てるものじゃない!!～食べ残しはダメ～／缶やペットボトルを再利用しよう!／皿の空拭き／空いた缶をおしゃれに再利用!／環境を守ろう!／古い布で、油を拭く。／残さず食べよう!／好き嫌いせず食べよう!!／洗うときに水を減らす工夫を／マイバックを使おう／残さず食べよう!／公共の乗り物、もっと使おうよ!／ゴミを出さないために／プラスチックの食器を使わない／陸を守れば世界が変わる!!!／切った野菜は一つにまとめよう／食品のムダを無くして生き物を守る／トウモロコシを無駄なく使おう!～実だけでなく、芯やひげも!!～／料理中のゴミを減らそう!／買い物から食べるまで!フードロスを減らそう!／新しいものだけを使わずに家にある食材をうまく使おう／しっかり全部食べて食品ロスをなくそう／3Rで環境を守ろう!!／みんなで森を守ろう。／エコバックを持っていこう!／え?これやりすぎじゃない?～本当に必要ですか?～

社会への配慮

家にある食材を中心に選ぶ!／宝はゴミにあり!?!／できるだけ家にある食材／余った具材を新たな料理に!!／私たちにできる食品ロス対策に挑戦しよう!／食品ロスをなくそう／賞味&消費期限の短いものから!!／国産の食材を積極的に使おう!／被災地で生産された商品を買おう!／家にあるもので調理しよう!／社会のために、買い物・調理のときにもコロナ対策を!／ごみの分別をしっかりと!／コロナ対策しっかり!／いるものをいだけ買う／歩いてより良い社会をつくる／日本の食材を裏切るな!さがしてみよう!フェアトレード商品／つけようエプロン!／過剰包装ープラスチックごみを減らそうー

人への配慮

美味しいから始まるSDGs／サヴァ缶で人への配慮／family happiness／ご飯を私達に届けてくれる方々に感謝しよう!／簡単 cooking／栄養バランスの良い健康的な料理／ゴミ箱を新聞紙で手作り野菜をしっかりと食べよう!／簡単に美味しいものを作る／食物アレルギーを意識して調理しよう!／フェアトレード商品を購入しよう!／家庭栽培／水を有効活用しよう!!

地域への配慮

いつもゴミは種類ごとに分けて捨てよう／地域でできた食品を食べよう!／岩手の町復興を目指そう! 地元で作られている食材を使おう／国産の野菜を買おう!／地域の食材にふれよう／Let's 被災地産品!!／買い物のときには地域食材を!／地産地消をしてみよう／だれでも手軽に絶品料理で応援／地域への配慮／サヴァ缶で被災地を応援しよう!!／地域を繋ごう／地産地消で地域に手助け／地産地消

生物多様性への配慮

食べ物への感謝／残さず食べて、海や陸の生物を守ろう!／マイバッグを使おう!／つながりを守るために～生物多様性への配慮～／自然はみんなで守ろう／洗剤と海の関係／食器洗い洗剤は適正な量で／生物を残そう。残さず食べよう。／my 食器を使おう!!～使い捨てから再生可能へ～／半永久的に魚を食べられる社会へ／養殖のりを使おう。／天然素材のスポンジを使おう!／調理で地球温暖化防止へ!!／RSPO 認証商品を使おう!／洗剤を減らして生物多様性保全!／生き物たちの世界を守る!／食材の無駄をゼロに!!／生物多様性を守るためにできること／フライパンを洗う前に汚れを拭こう。

生徒たちは、完成した「エシカルアクションカード」の共有場面で、お互いのカードを見たり、コメントを送り合ったりする活動に意欲的に取り組んでいた。それぞれが家庭での調理実践で見つけたエシカルアクションを共有したり、コメントの内容を考えたりすることで、友だちに共感したり、新たな気づきを得たりする様子が見られた。

7. 生徒の学習の考察

授業後の生徒の振り返りにおいて、題材に意欲的に取り組むことができたかどうかについての自己評価を五件法で行った。その結果、「5：非常に意欲的に取り組めた」43.9%、「4：意欲的に取り組めた」41.8%、「3：どちらとも言えない」5.1%、「2：意欲的に取り組めなかった」6.1%、「1：全く意欲的に取り組めなかった」3.1%であり、ほとんどの生徒が意欲的に取り組むことができたとして自己評価していることが分かった。

「エシカル」な暮らしや社会を実現するためにできることとして定義した「エシカルアクション」を自分事にしていくことをねらいとして、家庭での調理実践を通した「探究的な学習」に取り組んだ。3年間の学習の軸の一つである「エシカル」をテーマとした「探究的な学習」活動において、生徒が自己の成長や変容を捉えながら課題を見いだしていくための効果的な「振り返り」の場面設定ができていたかについて、生徒の様子や学習後の生徒の振り返りの記述等から考察した。

①「探究的な学習」活動について

本校家庭科では、生徒が主体的に自分自身の取り組みを「振り返る」場面が生まれる「探究的な学習」活動の授業づくりでは、学校行事や総合CD等の学習や他学年との横断的な学習を取り入れた「相手意識のある取り組み」や生徒が主体的に社会参画していく姿勢を養う「エシカル消費の視点を取り入れたカリキュラム」であると考えている。「エシカル」をテーマとしたことで、生活の課題と実践として家庭での調理実践に取り組み、その取り組みを振り返ったり、共有したりすることで予想していたよりも多くの自分にできるエシカルアクションがあることへの気付きにつなげることができ、さらには自分事として捉える様子も見られた。SDGsとの関連についても考えることができた生徒も多く、これまで、そして、これからの教科横断的な学習において今回の学習での気付きを探究して欲しいと期待している。

今年に入ってからエシカルという言葉をよく聞くようになった気がするが、いまいちよくエシカルがわからずにいた。高校生のエシカルアクションのビデオを見て、エシカルについて理解はできたがまだわかりきらない部分もあった。だけど自分でエシカルを見つけ動いてみるとものすごく実感できよくわかった。そこで自分が感じたのは身の回りの自分が行っていることを少し変えればエシカルアクションになるということです。これを機会に自分がまず行動をしてそれを家族など色んな人に広めていこうと思いました。

実際に取り組んでみて、思ったよりもエシカルアクションが日常に馴染んでいるなと思いました。結構無自覚でやっていたことも多くあったので、エシカルな社会へとなっているなと感じました。また、お互い被ったところがあって驚きました。

サヴァ缶クッキングでの活動を振り返るだけでたくさんのエシカルアクションが出てきてすべてがSDGs、持続可能な開発につながっていました。

エシカルアクションは料理をするときだけでなく生活の中に多くあることがわかりどれもが簡単なものだとわかりました。更にそれを沢山の人が知ってもらうことができれば小さな活動が積み重なって大きな成果を得られると思いました。

私が今回の学習で感じたのはエシカルアクションはとてかんたんで日常の至るところにあって、そして気づかないうちにたくさんしていたということです。さらにそれを意識することができれば自分自身としても嬉しいし、更に多くのエシカルアクションをすることができるとと思いました。

また、中学生の自分でもできる「エシカルアクション」を「エシカルアクションカード」として整理し発信するために、改めて根拠について考えたり、情報を調べたりすることで予想していなかった原状を知ることができた生徒も多く、友だちはどのようにしているのかを尋ねたり、自分の行動を再考したりする様子が多く見られ、自分事としての気付きにつなげることができた。

エシカルアクション探しをしたことで実際に自分で調べることができ、なぜそれが良いのか詳しく知ることができました。エシカルアクションは日頃から頭の一部に置いとかなければ行動に移せません。そのためエシカルアクションを頭の片隅にいつもおいておけたらいいと思います。

環境問題について、深く考えるようになりました。環境問題を解決するには、何も知らない状態で言われたとおりに動くのではなく、まず環境問題についてよく知ってから行動することが大切だと気が付きました。

僕は、食料がどれくらい廃棄されてしまっているのか調べましたが、日本では一人あたりに換算すると一日お茶碗1杯分のまだ食べられる食料が捨てられてしまっている事実を知り驚きました。

②「振り返り」の場面の設定について

本題材では、生徒が自己の成長や変容を捉えながら課題を見いだしていくための効果的な「振り返り」の場面として、「附属高等学校の生徒から教わったことの振り返り」「「エシカルアクション探し」の予測」「夏休みの調理実践の取り組み」「夏休みの調理実践の振り返り」「「エシカルアクションカード」作り」「「エシカルアクションカード」の共有」の6つの場面を設定した。

生徒に、これらの6つの場面のうち、「今、自分ができるエシカルアクション探しとして最も有効だった学習活動の一つを選んでください。」と質問したところ、「夏休みの調理実践の取り組み」が30.6%と最も多く、次いで「「エシカルアクションカード」作り」27.6%、「夏休みの調理実践の振り返り」19.4%、「「エシカルアクションカード」の共有」19.4%、という結果であった。

家庭での調理実践や「エシカルアクションカード」作り等、生徒自身が主体となって取り組む探究活動が「今、自分ができるエシカルアクション探し」として有効であると考えていることが分かった。また、お互いの取り組みを共有して振り返る活動があげられていることや、生徒の学習活動の様子や学習後の振り返りの記述等から、生徒はこれらの探究活動の中での、自らの探究の過程について考え、自己の変容を捉えるための「振り返り」が有効であると考えていると言えるのではないだろうか。生徒が自らの探究の過程について考え、「振り返る」ことを促すことにつながる生徒が主体となって取り組める学習活動の設定が重要であることを再確認するとともに、「エシカルアクション」を自分事にしていくことにつながっていくと考える。

夏休みの間、夏休みが終わってからの授業でたくさん考えてきた、「エシカル」についての理解が深まりました。生活の中のどの行為の一つとっても、私たちの心がけ一つでエシカルの実現につながるのだと感じました。今回作った「エシカルアクションカード」を通してこのカードを見た人にエシカルやSDGsの身近さについて知ってもらおうと同時に、それらに繋がる取り組みをすることの大切さを伝えられたらいいなと思いました。

この取り組みをするまでは、エシカルアクションがどういうものなのかよく分かっていなかったのですが、SDGsとの関わりや具体的な取り組みを学ぶことができてよく理解することができたと思います。
特に、調理実践の振り返りでは、結構基本的なこと（水を流しっぱなしにしないなど）がエシカルアクションになっているとわかり、面白かったです。まだ気づいていないだけで知らないうちにやっているエシカルアクションがあると思うので、これからも意識していきたいです。

思っていたよりもエシカル消費につながる活動は多く、昔はフェアトレードくらいしか思いつかなかったけれど、今ではリサイクルや地産地消、消費期限に近いものから使う、など多くのエシカルアクションを思い浮かべることができず。また、エシカルという環境のためや社会のためというイメージが大きいですが、自分にとってもメリットになっていたりに気が付きました。

また、自分自身の「探究的な学習」活動を「振り返る」とともに、自らの学びを発信するためのツールである「エシカルアクションカード」の作成に取り組むことで、他者からの発信に目を向け、自らの実践や行動を俯瞰した上での考えを持つ生徒も見られた。コルトハーヘンのALACTモデル

(2021年度公開研究会 総論、図1)に示された、「3：本質的な諸相への気づき」から「4：行為の選択肢の拡大」の過程であり、「5：試み」についても具体的なイメージを持つことができていると考えられ、「課題を見出し先を見通した調整を行おうとする」ことができているのではないだろうか。

色々な場面で、エシカルアクションへの呼びかけや宣伝を見ます。ですが、「まあ自分が協力しなくても他の人がやってくれるはず。」と~~思~~ってしまい、食べ物を残して無駄にしまったり、無駄なゴミ袋を買ってしまった、などなど、人任せにしてしまうことが多い世の中だと思います。一人ひとりが協調性を持って、自分も自分もと協力していかなければ、エシカルな暮らしなどは実現できないと思います。きちんと自分にも関わっていることだという自覚を持つことが大事だと思いました。

エシカルな暮らしは、日常生活でできることを少しずつ行っていくことが大事であると、気付かされました。

大きなことを目標に掲げる人もいますが、大きい目標であると、自分で達成できるかはわかりません。なので、小さいことでも自分で行うことができる方が良く思うようになってきました。しかし、そのような小さいことは一人であると、大きな効果は生まれません。なので、エシカルアクションカードの共有で、それを多くの人で実行に移すことがとても大事であると感じました。

また、サヴァ缶クッキングのカードの共有では、どのようにサヴァ缶を活用するかの工夫が多く見られて、とても興味深い時間であったと感じています。

今回の一連の授業を通して、自分ができることが多く見つけられました。見つけたことをできるものから、少しずつ行動にうつしていきたいと思つています。そのようにすることで、エシカルな暮らしや、社会を実現することにつながると思つています。

8. 成果と課題

本校で考える「探究的な学習」とは、学習者自身の内発的動機に基づいて、協働的な場の中で、学ぶ対象の本質に迫ろうとする学習であり、必要な要素として「探究の過程を行きつ戻りつしながらスパイラルに進む」「多様な学習者による互恵的な学び合いを前提とする」「学習者と授業者とで創り上げられていく」があげられている。

本題材「サヴァ缶クッキングでエシカルアクション探し」の実践では、今、自分ができるエシカルアクションについて、附属高等学校の生徒からエシカルアクションについて教わった後の自分自身の取り組みについて振り返ることから学習を展開していくことで、スパイラルな学習活動として家庭での調理実践でのエシカルアクション探しを探究することができた。また、生徒がお互いの実践や考えを共有していくことで、エシカルアクションについて自分の調理実践や経験をもとに考えを進めてい

くことができた。生徒全員がサヴァ缶という同じ食材を使った家庭での調理実践を行ったことで、実践や考えを共有する学習活動で具体的な事例を出し合って議論する様子も見られた。

「エシカルアクションカード」作りでは、相手意識のある取り組みとして学年や学校種を超えた成果物を通じた交流を今後計画しているが、年下の子どもに見てもらえることを楽しみにしている生徒が多く見られた。生徒の振り返りには、「エシカルアクションについて最初に考えるようになったのは、小学生のときにお茶高生がフェアトレードについて教えに来てくれたときでした。今回は自分がその立場になったので、少しでも誰かの記憶に残ったら嬉しいなと思います。」という記述もあり、発信する立場になることが、生徒の意欲の高まりにもつながっていると見える。

生徒が作成した「エシカルアクションカード」を成果物として、学校内、保護者、附属学校間、大学、これまでの学習で関わってくださっている学校外の方々に発信する機会を設定することで、授業時間での取り組みとしては区切りがつくものの、発信したエシカルアクションカードへのフィードバックを得ることで継続してエシカルな視点について振り返る機会を設定することができ、「エシカル」を軸としたスパイラルな学びが期待される。特に、学校外の方々への発信は、社会参画の視点を育てていくことにもつながると考える。本題材は、生徒が自己の成長や変容を捉えながら課題を見いだしていくための効果的な「振り返り」の場面を設けることができる「探究的な学習」であると言えるのではないだろうか。

家庭での調理実践で取り組んだ「エシカルアクション」をエシカル消費の5つの配慮点に熊手チャートのカードで分類、共有していく学習活動では、「人への配慮」「社会への配慮」の取り組みが少ない言う課題がある。また、熊手チャートのカードに分類する活動場面で、自分の実践として「人への配慮」「社会への配慮」につながるものがあるのかどうかを考えることが難しい生徒もいた。3学年で宮城県の特設非営利活動法人南三陸ミシン工房の商品の一つである「がんばっぺしポーチ」を教材用に用意していただき、ポーチ作りの授業を設定している。南三陸ミシン工房は、東日本大震災で被災した女性たちがミシンを仕事や生きがいにしていくために立ち上げられた団体であり、ポーチ作りの前には、「ミシンとともに復興を歩む」をテーマに特別授業をしていただいている。特別授業では「人への配慮」「社会への配慮」について考えさせられる場面があり、3学年の社会科では公民の学習が始まり消費に関連した内容も扱われるため、生徒がエシカル消費について考えるための経験や知識が増え、これらの配慮点についても自分事につなげていく様子が見えてくる。生徒のさまざまな状況に応じて、スパイラルに自分事につなげていく必要について改めて考えさせられた。

本題材では、生活の課題と実践の取り組みとして、振り返りの機会や生徒同士の取り組みの共有や話し合いの場を設けることができた。しかし、限られた授業時数の中でそのような時間を設定するには、3年間を見通した計画を行い、限られた時間であっても生徒が探究的な学習活動の中で主体的に振り返るの場面を設定できるよう検討していくことが課題である。

【引用文献・参考文献】

笑顔つなげる小原木タコちゃんプロジェクト：<https://www.kfsatelier.co.jp/takochan/index.html>, 梅村マルティ
ナ気仙沼 FS アトリエ株式会社

エシカル消費ってなあに？：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/assets/ethical_1_180409_0001.pdf, 消費者庁

Hang in there：<http://www.mishinkoubou.org/hanginthere.php>, 特定非営利法人 南三陸ミシン工房

被災地復興応援事業（東北復興応援 健康・栄養セミナー「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」）：

<http://www.theajinomotofoundation.org/akaepu/>, 公益財団法人味の素ファンデーション

岩手から Ça va?：<https://www.iwatekansan.co.jp/cava/>, 岩手県産株式会社

じいじの簡単クッキング（さば缶を使ったレシピ）：https://www.youtube.com/watch?v=_EWo0Agb-

[c&list=PLCijxKAP8cpiRhioKnQlodTwutUS9v7j4&index=3&t=348s](https://www.youtube.com/watch?v=_EWo0Agb-c&list=PLCijxKAP8cpiRhioKnQlodTwutUS9v7j4&index=3&t=348s), 公益財団法人味の素ファンデーション

みんなの未来にエシカル消費：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/assets/ethical_20201119_0001.pdf, 消費者庁

お茶の水女子大学附属学校園 連携研究 エシカルラーニングラボ：

<https://www-p.fz.ocha.ac.jp/renkei/ethicallearning.html>, お茶の水女子大学

おうちごはんレシピ（番外編さば缶を使ったレシピ）：

<https://www.youtube.com/watch?v=KYZmCkyG4hQ>, 公益財団法人味の素ファンデーション

SDG s のアイコン：

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/sdgs_icon/, 国際連合広報センター